

# 門真市子どもの未来応援ネットワーク事業情報誌

平成30年 3月

## ◆応援団員養成出張研修◆

こども政策課では、地域における多くの見守りの目を確保するため、地域の集まりや各種団体の会議等に赴く出張研修を実施しています。

ご希望の方はこども政策課までお問い合わせください。

お問い合わせをいただいた際に下記のことについてお尋ねいたします。

### ①実施希望日時

(2～3候補日時の提示をお願いします。)

### ②実施会場

(依頼者様でご準備をお願いします。)

### ③参加人数

(10名以上の参加をお願いします。)

### 申し込み先

こども政策課政策G 電話 06-6902-6095

## 【応援団校區別登録数】

中学校区	登録者数
第二中学校区	88
第三中学校区	95
第四中学校区	115
第五中学校区	98
第七中学校区	57
はすはな中学校区	121
その他・市職員	111
合計	685

平成30年3月1日現在



応援団員バッジ

## 【見守り方法について】

応援団員の皆様には、学校以外での子どものシグナルを発見いただき、その情報を「子どもの未来応援チーム」へ連絡いただくことをお願いしています。名前はわからなくても、いつもその子を見かける場所や時間など、限られた情報でも結構です。

チームはその情報を元に学校はもとより、行政内の情報を収集し、その子どもの特定から家庭背景、困っていることを洗い出し、対応へとつなげていきます。

学校だけでは、困っている子ども達を全て把握するのは困難です。学校で発見されていない子ども達を発見するには地域のチカラ【子どもの未来応援団員】のチカラが必要となってきます。

早期に発見し対応するほど、その子どもの未来の可能性が広がります。子どもの未来、門真の未来のためにも是非、皆様のお力をお貸しください。

情報提供は、「子どもの未来応援チーム」へお願いします。

電話 06-6902-6098

## 【ケース事例について】

応援団員登録数も600名を突破し、応援団員からの情報が増加してきています。その中で、応援団員から情報提供のあったケースの一部をご紹介します。

この事例を参照いただき、

「どのようなことを情報提供すればいいのか」、

「情報提供の後はどうに進んでいくのか」

と理解を深める一助になればと思います。

情報提供	「近所に住む子どもが不登校気味であるようだ。」
子どもの未来応援チームの対応	情報収集を行った結果、この家庭は一人親家庭で生活保護受給世帯であり、応援団員の情報のおり子どもは不登校気味であったことも判明した。 行政内の情報を収集すると、すでに生活保護世帯の子どもの不登校を支援する「健全育成チーム」が支援しており、子どもは、支援の効果もあって通学するようになり、今後の進路も決定した。

情報提供	「服装が気になる子どもがいる。」
子どもの未来応援チームの対応	情報収集を行った結果、この家庭は一人親家庭で親は仕事が多忙であり、子どもと関わる時間や家事をする時間も学校への送り出しもできないため、子どもは、ほぼ毎日遅刻をしていた。 学校は親と連絡がつかない状態が続いているため、「子どもの未来応援推進員」が親との接触を試み、一人親家庭支援策を提案することや訪問して子どもの相談相手になるなどの対応を行うこととしている。

情報提供	「子ども一人で夜遅くにコンビニによく買い物に来ている。」
子どもの未来応援チームの対応	情報収集を行った結果、この家庭は一人親家庭で親の仕事が多忙であり、帰宅は深夜になることがわかった。 そのため、子どもは仕事が終わるまで一人で過ごしており、夜遅くに食事を買いに行っていた。 学校と協力し、アプローチの方法を考えるとともに、放課後の居場所の提供等についての支援策を準備し、提案することとしている。

## 【活動事例の紹介】

### □1□ 子どもの未来応援団スキルアップ研修の実施について

事業を進める中で、応援団員の方々から「応援団員の交流の場の設定」や「見守り方法の研修」などを行った方が応援団員の活動の活発化につながるのではないかとのご意見が寄せられたこともあり、スキルアップ研修を下記の通り実施しました。

実施日時：	平成30年2月2日	金曜日	午前10時～11時30分
会場：	門真市保健福祉センター	3階多目的室	
内容：	1、事業進捗説明	こども政策課職員	
	2、講演	大阪人間科学大学	山中徹二 助教
	3、ワークショップ	「子ども達の背景を探る」	

当日は定員いっぱいの50名の参加があり、門真市長の激励の挨拶から始まり、事業の進捗状況の説明の後、山中助教から「子ども達の背景を探る」とのテーマで講演いただき、子どもが発するシグナルから、その家庭環境等を類推するスキルについて学びました。

講演後に行ったワークショップでは応援団員同士が顔を合わせ、課題に対してどのように対応するかを活発に話し合いました。

終了後には、「同じ校区の応援団員と顔を合わせることができ、今後の活動につながりそうだ。」などの意見が寄せられ、今後の見守り活動の活発化につながりそうです。



### □2□ 企業への応援団員養成出張研修について

門真市ものづくり企業ネットワーク会員企業である「大日運輸(株)」様よりご依頼をいただき、従業員向け出張養成研修を実施させていただきました。

当日は同社の従業員の方に加え、(株)出雲様の従業員も受講され、新たに17名の方が応援団員に登録されるなど、今後は地元企業の方々も一体となって、地域の子どものためにご協力いただけることとなりました。

今回のように、企業様からの出張研修にも対応いたします。ぜひご活用ください。

### □3□ 門真第四中学校区「子どもの未来応援団連絡会」設立について

門真第四中学校区で「応援団員同士が、顔が見えて話せる場を作りたい。」との機運が高まり、平成30年2月24日（土）に、応援団員有志により、南部市民センターで「門真第四中学校区子どもの未来応援団連絡会」設立会が行われ、24名の応援団員が参加し、会則の承認などを行った後の意見交換では活発な議論が行われました。

最後に「せっかく集まったのだからみんなで自己紹介をしましょう。」との提案があり、参加者全員の顔と名前が一致する機会となり、地域で顔を合わせた時にコミュニケーションがとりやすくなったとの声があがりました。

### □4□ 門真第三中学校区「春休み居場所づくり」の実施について

スキルアップ研修に参加した門真第三中学校区の応援団員有志が、「速見小校区内で春休み中に、いつでも子どもが集まれる場所を作りたい」との思いのもと「子どもの未来応援団員春休み居場所づくり実行委員会」を立ち上げ、自治会等の協力を得ながら、速見小校区内の自治会館や子ども食堂を会場として子どもの居場所を作り、地域で子どもの見守りを行っていくこととなりました。

また、この取り組みにつきましてはボランティアスタッフを募集しております。取り組みの概要及びボランティアの件については下記の連絡先へお問い合わせください。

問合せ先：実行委員長 中山 文寛 電話090-9284-5488

### □5□ 門真こども食堂フォーラムの開催について

「家」・「学校」以外の子どもの居場所で注目されている「子ども食堂」ですが、昨年より門真でも取り組みが活発化してきています。このフォーラムでは門真市で子ども食堂を開催している方々の実践報告や意見交換などが行われます。

子ども食堂は本事業と連携を行い、支援が必要な子どもの発見から、居場所が必要な子どもへのつなぎ先など、多岐にわたる連携が可能です。お時間のある応援団員は是非ご参加ください。

日 時：平成30年3月21日（水・祝） 会 場：南部市民センター

主 催：門真市こども食堂連絡会 定 員：先着120名

申込先：門真市社会福祉協議会ボランティアセンター

電話06-6902-6453